

学級委員長

もうだいぶ昔の話です。私が中学生のときのことです。中学校に入学しました。その中学校は、3つの小学校から生徒が集まってくる学校でした。私は、1年3組になりました。前期の学級委員長を決めることになりました。3つの小学校から集まってくるためか、お互いのことがよくわかりません。どうやって決めるのかと思ったら、出席番号1番の人になりました。

9月下旬になりました。後期の学級委員長を決めることになりました。私は、立候補しませんでした。ところが、私は推薦（すいせん）され、学級委員長になってしまいました。そのときは、学級をまとめようとか、自分が先頭に立って何かをしようなどとは考えてはいませんでした。学級委員長らしいことはしていなかったと思います。

2年生になりクラス替えになりました。新しい学級で、学級委員長を決めることになりました。私は、当然のごとく、立候補はしませんでした。すると、推薦され、また学級委員長になってしまいました。きっと、1年生のときにやったことがある人ということで、選ばれたのだと思います。

2年生になったのだから、少しは学級委員長としてがんばってみるかと考えました。しかし、どうもクラスの雰囲気（ふんいき）がよくないのです。うまくいっていません。これはまずいなと思いました。だからといって、たいしたことはできませんでした。合唱コンクールも、まとまりがなく、だめでした。担任の先生は、音楽の先生だったにもかかわらずです。多少なりとも、学級委員長として責任を感じたものです。

3年生になりました。クラス替えがないため、学級のメンバーはそのままです。二度と学級委員長になることはないだろうと思っていました。ところが、またまた学級委員長になってしまいました。2年生のときの学級がうまくいっていなかったため、自分がもう一度、学級委員長になることはないと思っていました。

3年生になり、担任の先生が替わりました。学級の雰囲気も変わりました。最後の学級委員長だと思って、少しは学級委員長らしいことをしようと考えました。うまくできたかはわかりません。

1年生と2年生と3年生と、毎年、学級委員長を務めました。さほどのことはしていなくても、あのときの経験は、その後の人生において役立っているのだと思います。今でも、中学時代の学級委員長は、決していい思い出ではありません。

前期の学級委員長を務める皆さんは、どんな学級委員長になりたいですか。自分の学級をどんな学級にしたいですか。自分で考えたら、行動してみてください。行動することで、うまくいかないこともあるかもしれませんが、でも、残るものがあります。いい経験になります。学級委員長には、学級委員長にしかできないことがあります。